

市報

とす

今号の内容

CONTENTS

新春座談会 2



「東南アジア青年の船」一行が鳥栖北小を訪問 6

半田さんが母子保健推進員として厚生大臣表彰 8

山下市長「新年のごあいさつ」 9

水道の責任技術者・配管技能者試験 10

消えゆく民具 11

市民栄誉賞 1団体6人に 12

謹
賀
新
年

1

平成8年 No. 797

1日号



どとうなる駅前 どとうする商店街

周りの環境が大きく変化し、今や駅前の中心商店街は非常に衰退してきています。

この理由としては、人の移動手段が鉄道などから自家用車へ変わったことで、商業が立地する場所がかつて一等地といわれた駅前から完全にロードサイド、幹線道路周辺に移ってきたことが挙げられます。消費者の側は駐車場が十分に整備された交通便利性を確保した郊外の大型店へと流れ、さらに大型店の方も混雑するような大都市を避けて、そこに近い郊外に出店してきているという状況です。

鳥栖市ではみなさんご承知のとおり一昨年

十月に鳥栖シテイモールがオープンし、昨年十一月には隣接してトイザらス等がオープン。店舗面積二万五千平方メートルの県内最大のショッピングセンターが誕生しました。

このように中小商業者にとっては非常に厳しい状況にあります。今号では駅前商店街の活性化、まちづくりに取り組まれている四人の方に「駅前はどうなるのか、商店街をどうするか」について現在の取り組みや将来の夢などを語っていただきます。

商店街は地域文化の担い手

中川 中小商業者にとっては非常に厳しい状況にあるわけですが、商店街も消費者ニーズに合わないといえますか、消費者にとって魅力がないような商店街になってきている

んじゃないかと思えます。本通筋あたりでも空き店舗がかなり目立っています。空き店舗に次々と入ってくるような環境づくりが大切ではないかと思えます。

商店街として何かやろうと模索しているような動き、新しい商店街づくりの動きはありますか。

年間通じて人を呼び込めない福岡、久留米、郊外型へと消費者も分散して中心部に集まっ

高島 商店街でも何かしなきゃというのには非常に持っているわけで、これまで人を呼ぶために夜市であるとか初売り

増田 まさに商業者は「かきくけこ現象」で価格破壊だ、規制緩和、空洞化、景気不振だと、いいことは全然ないですね。だけどそういう中だけ

座談会出席者のみなさん
■増田 悟・鳥栖市商店街連合会会長

■高島 英明・鳥栖本通筋商店街振興組合代表理事

■福山 博志・鳥栖駅周辺開発推進協議会会長

■橋本 康志・鳥栖コンベンション・シテイ委員会都市開発推進部会長

■下岸 和智・市都市開発課課長

■中川 直之(司会)・商工課商工観光係長



「魅力を持つよう環境づくりが大切では」と中川係長

からこそ、みんながしっかりと意識を持って取り組まないと。押し流されたら、いつの間にか消えてしまいます。中川 商店街、中心部の人口がかなり少なくなっていますね。子供さんは東町でどれくらいおられますか。増田 運動会でも年齢別の競技ができないような状態です。高島 京町でも本通町でも一緒ですが、子供がいないから他地区の人に来てくださいと呼びかけて、山笠でもひっばっている状態です。それはもちろんしていただいて結構なんです。やはり地元の人ならばばらばらということになってくると何か寂しいですね。橋本 商店街には、ぜったい残ってもらわないといけないと思っています。山笠など地域のまつりを担っていただいているのは商店のみなさんなんです。今、山笠も他地区から応援をいただかないと動かないという状況は、商業をか



「山笠でも地元の人がばらばらでは寂しい」と高島さん

ついでにいただいているみなさんが減ってきているということに直結しているような気がします。例えば、他の地域から移り住んできた方が、地元には根をはり、地元意識を持つのは、まつりに参加することによってここがおれのふるさと

面白いといわれるまちづくりを

中川 今の消費者は安ければ買うというのとはまた違うみたいですね。

増田 確かにそれは言われま

中川 いくら安くても自分が買いたくないようなものがなければ買わないという志向もあり商店街のみなさんも難しい部分ではないかと思えます。価格でも対抗しないといけないし、品物でも対抗しないといけないし。

橋本 まちの商業、商店のみなさんで生き残っていくためには何がいるのかなあと考え

だという意識につながると思えます。恐らく、新たに進出される大きな商業のみなさんには期待できないことです。地域文化の担い手という面での商店街の役割というのは非常に大きいものがあると思います。

ると、ただ単にメーカーから持ってきたものを並べるだけのものには残念ながら無くなるのをええな。例えば、くつを買っていくと目をつぶっていても自分にあつたものを出してくれるというように、顧客側の情報をどう商品とマッチングさせていくかといった部分で商店街というのは存在意義が出てくるし、そこをみつ

き残れるかどうかにかかっていると思えます。

福山 まちづくりの中でその顔になる、シンボルになるの

が商店街だと思えます。今、商店街には無料で広い駐車場品揃え、商品の価値に見合った適切な価格、買い物の楽しさといったものが求められています。これらを念頭において、明確な意思を持った大手のショッピングセンターが出店してきている以上、行政と一体となった開発をしないかぎり、個々の商店街では対抗しきれない。そういう時代に入っていると思います。

中川 東町の商店でも六店会を作ってチラシを出したり、お米屋さん何店が集まってイベントをするなど努力はさ

れているようですが。

増田 部分的に小さな努力で



「商店街は面白さ、楽しさを演出するのが大事」と橋本さん

すが、これを大きくして、やる気があるお店全部が参加してやりたいですね。東町だ、本通筋だ、大正町だと町ごとにやるんじゃないかと。最近はず元売り出しとか歳末売り出しとか市内全部でやる売り出しを全くやらなくなってしまうました。消費者には、短期のこうした売り出しがインパクトがあつて、福引きでのガラガラが楽しみなようで、消費者モニターをした時にも抽選券を渡すようなのをやってみられないかという意見が出てきました。市全部が一つにまとまってアピールしないと、消費者にかわいがられないだろうと思えます。それと一番の問題点は駐車場ですね。中川 駐車場ですが、商店街をながめると周りにあちこちあるんですね。あるのはあるけど、今の消費者はわざわざそこに止めて歩いてこないですね。

増田 みなさんちよつとした買物は近くで買っているんですが、まとめ買いや大きな買い物しようとする、久留米や福岡へ半日や一日つぶしても行きます。車も駐車場にきれいに止めてですね。鳥栖の場合は、今のところ寄るところがないから目的地に行つて五分か十分で買物を済



どうなる駅前 どうする商店街

ませるといふ買い方ですよ。半日や一日かかっても家族連れで来て歩いてショッピングが出来るような街並みをつくらないといけないだろうし、鳥栖は面白いよといわれるようなまちづくりをしないとダメせん。

橋本 私達が小さいころは特に用事がなくても久留米などにうきうきして行った覚えがあるように、商業のみなさんが面白さ、楽しさを演出して

区画整理はいつからプランを打てる

中川 そういったまちづくりというところ、区画整理などがかわってくるわけですが。

福山 区画整理事業では駅西側全体が一つのまちと考え、マスタープランをつくり、どのようなものを配置するかというゾーニングをすることが一番大事だと思います。例えば、ある部分は小売業、ある部分は飲食業、またある部分はその上に住宅をのせて住宅開発するなどしっかりプランを立てることが必要です。

橋本 道路一本通すにしても商業の形成という面で議論をやった上で商業機能をどう持つていかか同時平行的に検討していかないと、どこにでもあるまちにしかならない気が



「次の世代のことを考えたまちづくりを」と増田さん

いただくというのが非常に大切になっていく。そこではよそとは違う何かを持ってこないといけないと思います。

します。商業機能、住環境、都市計画がうまくかみあっていく必要があると強く感じます。

中川 鳥栖駅西地区まちづくり委員会が十二月に発足しましたが、この委員会の目的はなんでしょうか。

福山 区画整理事業地区をどのようにしていこうかという「プランナー」だと理解していますので、この事業をきちりと成し遂げるという目的が一方にあります。ただ、基本的には東西を結ぶ道路を一日も早くつくってほしいというのが念願です。

高島 商工会議所などからいつも商店街は袋小路になっているといわれますが、早く風

通しのいい状態にしたいです。店ができて車があちこちから入ってくると、かなり中心部は混雑する事が予想されるので、早くできることを願っています。

中川 区画整理事業はあくまでも高架を前提としたものになるんですか。

下岸 計画では区画整理事業と鉄道高架事業といった事業でまちづくりをするということとできております。やはり鳥栖市の長年の夢である駅周辺を一体的に、東西の風通しをよくする鉄道高架は避けられないと思っております。いろいろ



「鳥栖の長年の夢である鉄道高架は避けられない」と下岸課長

るな問題も山積していますがJRあるいは関係機関との協議を現在進めています。長期間になるとは思いますが、やはり避けては通れない、ぜひやらなければならぬ事業だと思っております。

中川 事業そのものも大きな事業で、時期もはっきり言えないような状況で商業者のみなさんも自分の店づくりということでは非常に難しい立場にあると思いますが、ただ指をくわえて何もしないで待つのか、それとも何かやるのかそこで随分違ってくると思います。年月がかなりかかるということで自分たちの世代でなくて、将来自分たちの子供孫といったところを見据えて

福山 今回の区画整理を中心にしたまちづくりをしようという私たちの運動の中で、次世代の方々に喜んでもらえるまちづくりが必ずできると思っています。

ブロック開発で新しい商店街づくり

中川 例えば、佐賀市の中心商店街では、まちづくり会社を作って第三セクターで白山の再開発事業をする計画がさ

れているので、以前に通筋商店街でアーケードづくりをしたような商店街全部をいっぺんにやるような工事はなかなかできない。ブロック的な開

のまちづくりをしていかないと無理ではないかと思うんですが、
増田 そうですね。二代目、三代目の人に良かったと言われるようなまちづくりでない。自分たちのことばかり考えて要求してはいけない。後継者の問題にしても子供たちがいいと思うようなまちづくりをすれば、子供たちも出ていかずにまちに住むだろうし後継者もできるだろうと思います。
福山 今回の区画整理を中心にしたまちづくりをしようという私たちの運動の中で、次世代の方々に喜んでもらえるまちづくりが必ずできると思っています。

新春座談会



発をしていかないと進まないのではないかとという意見が出され、一ブロックを開発してビルを建てると、当然そこには空き地ができ、駐車場ができるということです。

先進地視察に行ったとき、津山市が、実際にそうしたことで開発している。資金的にも自己資金はほとんどいらないうこと、これならば可能性は十分にあり、現在こうした手法が進めたらということ、話し合っています。一つが開発して実績づくりができ、他の地区でも取り組むようになり、開発が早くなれば非常にいいまちづくりができるのではと思います。

福山 きっちり勉強していけば、開発手法にしても高負担じゃなくて新しい商店街がつかれる可能性があります。例えば本通筋商店街が道路の両側に二列あります。これを線ではなくて一ブロックずつコの字型に店舗を配置換えすると、真ん中に駐車場ができ、奥の方まで開発することで既存の十店舗に加えてあと十店舗くらい入れるようになります。このようにいろいろな手法を考えてみると、あながち悲観的にならなくても、これから勉強などで認識が深まっていってもう少し知恵を出せ

「もう少し知恵を出せば面白い開発がある」と福山さん



ば面白い開発が現実にあるんです。

中川 そのコの字型で広場を持った施設が大川市にありますね。非常に若者に人気があつて土、日は大変若者でにぎわっているそうです。

福山 コの字型にすれば、道路に面した土地とその奥の土地を共同に開発することで、そこにもすごい付加価値がつくというのがひとつ。もう一つがビルのように上に上げて、上げた部分を販売する、保留床をたくさん確保して販売することで、地権者のコストが非常に軽くなります。

高島 商店街ということだけではなくても、ビルなどを建て

ることによって人がそこに住み、人口も増えます。駅にも近いし、いろいろショッピング

人が住むにぎわいのあるまちに

中川 人が住まなければまちではありませんからね。また人が来ないことには商店街はどうにもならないし、その人をどうやって自分の方に吸収していくかが問題ですね。

増田 商店街だけじゃなくて住む人たちの環境を良くするというのを目的に商売人がどう街づくりしたいのかを行政とも話し合っていくかな。将来の形を追いながらできることから一期工事、二期工事と進めていきたいと考えています。ただ、商店街だけが潤うようにやるんじゃなくて地域住民から賛同を受けられるようにしないと。

福山 我々の念願でした行政との横断的な組織である鳥栖駅西地区まちづくり委員会が発足しました。来年六月までには私たちのマスタープランといいますかゾーニングをぜひ書き上げたいと思っています。その過程で各商店街とも意見交換がされると思います

が、いろんな意見が、また面白い意見が出てくると期待しています。

グもできるということで非常にいいまちになるんじゃないかと思っています。

橋本 駅周辺の開発の場合

一つは商業を表に出すのではなくて、とにかくたくさんの人に住んでいただく、そして今度はたくさん集まっていた、そこに商業のにぎわいというのがあると考えています。もう一つは弱い立場の方をどうフォローするか、賛同をいただけるようなプランを出せるかどうかが事業の成功の鍵を握っていると思います。

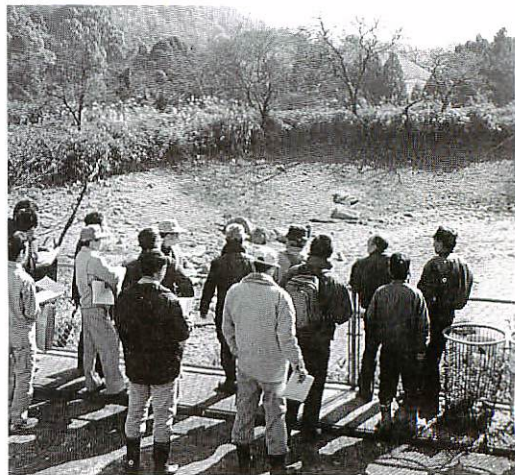
高島 やはり人も実際にいって商業もして地域のみなさんと生活して、山笠であるとか祭りに地元の住民こそって参加していくという姿がないと住民としても楽しくないですね。

増田 空洞化といっても施設ができ、住民が増えれば、まちのにぎわいは出てくると思うし外からの人も増えてくることになる。そうした人たちが来て、時間を費やしてくれようかな街をつくりたいというのがあると思います。

中川 駅前にも人のにぎわいをつくり出すということが一番重要なことではないかと思えます。みなさんぜひ、やる気を持って頑張ってください。



新しい商店街づくり、まちづくりに向けて活発な意見が出されました



県営自然環境保全整備事業 本谷ため池周辺を調査

整備計画などの説明を受けながら本谷ため池周辺の現状を調査する出席者

周辺の貴重な自然環境を壊さずに、堤体の老朽化で漏水が激しい立石町の本谷ため池と用水路を改修するための「自然環境保全整備技術検討会・本谷地区」が十二月十三日に行われました。

地元住民の代表、県・市の関係各課などから二十二人が出席。午前中、県から整備計画について説明を受けながら、本谷ため池とその周辺の用水路、上流部の砂防ダム付近を現地調査し、午後からは鳥栖農林事務所で開催方法などについて審議が行われました。

この中で、計画案に対して地元代表や専門家の間からは、「今の自然をできるだけ保つたままでの整備をしてほしい」などの要望が出されました。

しまうのが一般的ですが、今回のような自然環境保全型の整備は県内でも初めて。計画ではコンクリートを用いない工法が検討され、また用水路にも自然石や草木類を配置して自然の河川に近い水路にすることなどが盛り込まれています。

この県営自然環境保全整備事業は計画が固まり次第、工事に着手する予定で、今年度から平成十年度の約四年間で整備をしていきます。

東南アジア青年の船 鳥栖北小児童と交流

東南アジア諸国と日本を訪れながら青年らが交流を深める「東南アジア青年の船」の一行が十一月十七日、鳥栖北小学校を訪れ、授業参観や歓迎会を楽しみました。

一行はブルネイ、インドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム、日本の団員四十八人。授業参観では各教室を見て回り、児童らに「学校は何時から何時まで?」「どういった勉強をしているの?」などと学

校生活について質問。逆に五年生のクラスでは名前や年齢好きなものなどについて英語でインタビューを受け、「ジョウズデスネ!」と笑いながら質問に答えていました。また、パソコンの授業にはどの団員も興味がある様子で、児童の操作する画面を熱心にのぞきこんでいました。

最後は体育館で四年生以上の児童による歓迎会が開かれ、合奏や各国の国歌などを一緒に合唱して交流を深めました。



授業参観では児童による英語でのインタビューも

生産者と消費者つなぐ農業まつり



盛況だった農産物の展示即売会

生産者と消費者との交流を深める「鳥栖基山農業まつり」が十二月三日、鳥栖基山農協会館で開かれ、小雨まじりの天気にもかかわらず、約三千人が訪れました。

会場では、牛肉やみかん、柿、茶、アスパラガスといった農産物の展示即売会をはじめ、県産物などの試食会、農産物の品評会、組合員が自慢ののどや踊りを披露する芸能大会などでにぎわいました。また、餅つきや餅まき、親子縄とび大会のほか、長さ約五十センチの巨大巻ずしづくりなど趣向を凝らしたイベントに家族で楽しむ姿が多く見られました。

異常気象で凶作となった二年前は祭りを中止。今年は大変な年でもよく、米や野菜、果樹類など平年並みの収穫で、品評会へは柿やみかん、白菜、大根など出品品種も多く、出来の方も上々でした。

くすり博物館でおとそ教室

お正月は手作りおとそで

不老長寿・無病息災の酒としてお正月に欠かせない「おとそ」の効果や風習などを知ってもらおうと、中富記念くすり博物館で十二月十日、「おとそ教室」が開かれ、市内外から申し込みがあった約二十人がおとそ作りを体験しまし

た。

教室では、同館係員からお

完成させました。
薬研で生薬をすりつぶすと
切りは何とも言えない独特の
香りが漂い、生薬に鼻を近づ
けてその香りを楽しむ参加者
もいました。
養父町の片田カツエさんは
「漢方薬がブームになってい
るので、私も薬草などについ
て勉強したいと思って参加し
ました。生薬にもこんなたく
さんの種類があるのにびっくり
。お正月に家族で手作りお
とそをいただくのが今から楽



昔ながらの薬研で生薬を粉末にする参加者

作り方などを体験させてやり
たいと思って参加しましたが、
私自身、おとそをこんなに生
薬を混ぜて作るなんて思って
もみませんでした」と驚いて
いました。
この「おとそ教室」は今年
初めての企画で、師走に入っ
た、二日と三日、九日にも開
かれており、この日が最後の
教室。四回の教室に市内外か
ら八十人を超す人が参加、お
正月を手作りおとそで迎えて
ます。

鳥栖地区社協が発足

今月中には鳥栖北地区でも

鳥栖地区社会福祉協議会の
設立総会が十二月九日、鳥栖
公民館で開かれました。
地区社会福祉協議会（地区
社協）は地域住民による福祉

ネットワークで、地域の実情
に合ったきめ細かい福祉活動
を進めていこうというもの。
鳥栖市社会福祉協議会が国の
指定を受けて一昨年から取り

組んでいる「ふれあいのまち
づくり事業」の一環で、これ
まで田代、基里の二地区では
一昨年十二月に設立され、町
区単位でネットワークを組織。
一人暮らしのお年寄りなどへ
の声かけ訪問運動やチビッコ
ボランティア入門教室、介助
学習会、福祉講演会の開催と

いった活動に取り組んでいます。
今回の設立総会には各町区
の区長、婦人会、老人クラブ
などから五十一人が出席し、
会長に松隈正之氏、副会長に
杉野利治氏を選出。今年度の
事業計画として声かけ訪問活
動と広報紙を作成し鳥栖地区
全世帯に配布することなどを

決めました。
鳥栖市社会福祉協議会では
一月中に鳥栖北地区で設立総
会を開くよう準備を進めてい
ます。麓・旭の残る二地区で
も来年度中の設立を予定し、
その後は地域住民による福祉
ネットワークの充実に努めて
いくことにしています。



設立総会では役員などを選出

健常者と障害者が一緒に歌
やゲームを楽しむ「ふれあい
クリスマスパーティー」が十
二月十日、社会福祉会館で開
かれました。
パーティーには手をつなぐ
親の会鳥栖教室の室生とその

家族、夏休みに開いた「ふれ
あいスクール」を受講した児
童、九州福祉医療専門学校の
学生ら約二百人が参加。踊り
や合唱のほか、うちわを使っ
たボール運びリレーや、人を
サンタやトナカイ、ツリーに
見立てて班ごとに協力して飾
り付けをするゲームなど楽し
い催しに会場はみんなの笑い
と拍手が絶えませんでした。

今回のゲームは九州福祉医
療専門学校のボランティアアク
ラブ員ら二十五人が企画から
準備、進行までを担当。同校
二年の龍進一さんは「一週間
ほど前から準備にとりかかり、

ふれあいクリスマスパーティー 健常者も障害者も一緒に

企画もいろいろなものが出ま
したが、簡単に、健常者と障
害者が一緒に楽しめるような
ものを考えるのには頭を痛め
ました」と話します。
このほか、社会福祉協議会



ゲームを楽しむ子供たち

の職員らが扮したサンタクロ
ースから子供たちにプレゼン
トが渡され、全員大喜びして
いました。

トが渡され、全員大喜びして
いました。

母子保健推進で厚生大臣表彰

半田 力子さん(61歳、田代本町)



「次の世代を担う子供たちに関わる仕事ができ、幸せです。生きている以上は何か人の役に立つことをしたい」
長年にわたり母子保健推進員として母子保健の向上に尽力したことが認められ、県内からただ一人厚生大臣表彰を受賞。十一月二十八日、二十九日滋賀県大津市で開かれた



熱心にパソコンを操作する受講者

農業



〈156〉

「今後の農業見すえ経営改善研修会」 パソコン操作習得で効率化目指す

「パソコンを使った簿記で経営改善を」と鳥栖基山農業公社内にある農業経営改善支援センターが十二月六日、鳥栖基山農協本所で経営改善研修会・初級コースを開きました。会場には鳥栖・基山地区

の農業者十二人が参加。実際にパソコンに触れながら、初歩的な扱い方を学びました。「自分の数字を自分で叩き出し、農業簿記を行えば、無駄な支出がはつきりと分かります。手作業だと面倒な転記

や計算もパソコンを使えば楽に行うことができます」と講師を務める三神農業改良普及センターの権藤謙二技師(28歳)はパソコンの利点を強調します。
会場には三台のノート型パソコンが用意され、受講者は順番に操作。初めてのキーボードに戸惑いながらも次の画面が気になります。
参加者の一人、松隈邦博さんは「農業でも投資、回収、

利益などの資金の流れを把握することが経営改善には不可欠。複式簿記も習得して無駄な支出をなくしたいですね」とパソコン導入に意欲的です。「受講は無料、気軽に参加して欲しいですね。パソコンにまずは慣れることが大事。確実に理解していただくために、ゆっくり進めていこうと思います」と権藤さん。
受講の申し込みは鳥栖基山農業公社(☎034104)へ。

あんなひと
よそのひと

平成七年母子保健・家族計画全国大会で表彰されました。昭和二十九年から三十七年までは保健所保健婦として未熟児や妊産婦の保健指導に従事。病気で退職した後、地域に密着した活動を進めるため四十二年、市が県内各市町村に先がけて設置した母子保健推進員に委嘱され、現在まで二十八

年間にわたって活動されています。活動内容も相談業務はもとより、乳幼児健診の未受診者への勧奨、医療給付といった制度の紹介、保健センター主催の育児学級や講演会の手助けなどさまざま。「最近では核家族が進み、身

近に相談相手もなく、育児への不安や悩みを訴えたり、育児書を何冊も読んで知識はあるけれど、かえって混乱しているケースが増えています」
親身になってこうした相談にのるほか、乳幼児を持つ家庭に出向いたり、買い物など外出先で母子の姿を見かけると、予防接種や各種相談・教室の紹介をするつもりです。「一日中子供と二人きりであるお母さんは大変。ご主人さんも奥さんの話をよく聞いてやるなど気晴らししてやるように協力してやるのが大切ですよ」と長年、母子を身守ってきた目は優しく輝きます。

あんなひと

こんなひと

④1

子の姿を見かけると、予防接種や各種相談・教室の紹介をするつもりです。



③3 経済部農林課林務畜産係 原 祥雄

定住所 ままぶ



新年のごあいさつ

市長 山下 英雄

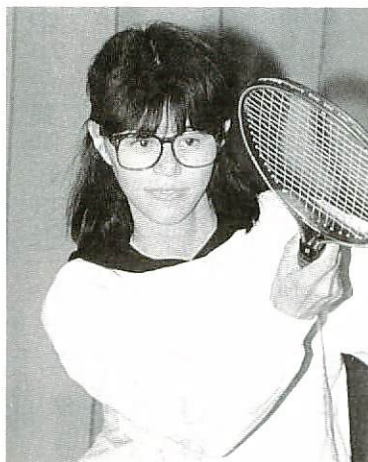
市民の皆さん、明けましておめでとうございます。昨年国内外共に、波乱に満ちた年でした。特に国内では阪神淡路大震災、オウム真理教事件などが発生、加えて深刻な経済不況に突入するなど終始激動不安定な年でした。

このように厳しい年であったにもかかわらず、鳥栖市におきましては、市民の皆さん方の温かいご理解、ご支援により、うるおいと活力あふれる都市づくりに向けて大きな実績を残すことができました。改めて感謝の意を表しますと共に、新年もまた官民一体での市政運営にご協力賜りますようお願い申し上げます。

さて、鳥栖市は、交通の要衝として脚光を浴びている。このように、鳥栖市は、高速道も全面開通となり、いよいよハイウェイ時代の一大拠点となります。鉄道交通の面でも、九州最大の分岐点としての機能を持つことから、この総合的な位置のエネルギーを最大限活用して参りたいと考えています。来るべき二十一世紀を前に、数々のプロジェクトを推進中ですが、鳥栖市が持つ貴重な位置のエネルギーと市民の皆さんの愛郷

心に残付けされた人的エネルギーを結集することが、成長への原動力であると思えます。昨年夏、日本統計センターによって発表された「都市の総合力評価マップ」によりまして、全国六百八十六都市の中で「暮らしやすさ」「豊かさ」「成長度」の指数が、三つ共に全国平均を上回ったところは六十八都市で、九州では鳥栖市と杵築市（大分）の二都市が選ばれています。これは客

観的に鳥栖市の持つ力が評価されたことであり、喜んでいきます。今後も更に、たゆみなく成長し、豊かで暮らしやすい理想都市をめざして頑張るうではありませぬか。健康や福祉の課題については「健康文化都市」に指定されたパワーをフルに発揮し、「うるおいと活力あふれ未来にはばたく交流都市」をめざすことを御約束し、年頭のごあいさつといたします。



今村純子さん（32歳、浅井町）が昨年十月末に福岡市で

Viva! ビバスポーツ[®]

バウンズ テニス 九州大会で優勝

長く続けられるのが魅力

開かれたバウンズテニス九州ブロック選手権大会の四十五歳未満シングルルスで優勝、同ダブルスでも準優勝を飾りました。「家でじっとしているのができない性分。仲間とわいわい話しながら楽しんでます」

高校まで軟式テニスをやっていた。以来、結婚、育児と追われ

「目標は全国大会優勝」と今村さん

スポーツと遠ざかっていましたが、一昨年九月、体を動かしたいと市教育委員会主催のニュースポーツ教室に参加。

「成績は思わしくなかったんですが、同じ年ぐらいの人がたくさん出場されていて励みになりました。三年から五年後には全国大会で優勝したいですね」と目標は大きい。

そこでバウンズテニスを体験したのを機に、愛好者が集まるクラブチーム・木曜会に入り汗を流しています。「練習は週三回。平日は夜七時からで、夕食を作ったあと出てきます。この時は主人も早く帰ってきて三人の娘の面倒を見てくれます。バウンズテニスはコート、ラケット、ボールがテニスよりひと回り小さく、テニスと卓球の間のような感じ。年をとっても長くやれるのが魅力です」

さわやかさん (33)

鳥栖工場は昭和六十一年、商工団地内で操業を開始。導電ペーパストと呼ばれるような各種電子材料を開発、製造しています。このペーパストはICなど電子回路内部の配線に使用されるため、千分の一、単位での高度な技術が必要です。鳥栖工場では高品質の製品を全国各地へ出荷しています。

私は入社二年目で、超微粉化の研究や試作品の開発などを担当。自分のやったことが目に見える形となって現れるので大変やりがいがあります。ドライブが好きで休日には阿蘇や長崎などによく出かけます。鳥栖市は駅前を早く整備して、もっと人が集まるようなまちになるといいですね。



昭栄化学工業(株)鳥栖工場勤務
吉田 幸代さん
(23歳、本鳥栖町)

水道の責任技術者・配管技能者試験と講習会を実施

水道の給水工事は、水道事業管理者が指定した工事店でなければ施工できません。また、水道指定工事店になるためには、責任技術者や配管技

催し

鳥栖の町づくりと歴史・文化講座

■第十回「筑前南部地方の石造物探訪」(太宰府市、筑紫野市、大野城市方面)
とき 一月二十一日(日)午前八時半(雨天決行)
ところ 市役所前出発
参加料 四千円(バス代、見学料、食事代含む)
定員 三十人

パパ撮っし



三澄素直さん加代子さんの2女の子
莉奈ちゃん
(1歳1か月・轟木町)
●ママからひと言
お姉ちゃんに負けないように元気に大きくなあれ!

能者を置くなどの資格要件が必要で。水道の責任技術者と配管技能者の試験と講習会を次のとおり実施します。

申し込み 鳥栖歴史研究会・内野武史(教育委員会社会教育課内 ☎3695)へ
中小企業時短推進セミナー
とき 一月十九日(金)午後二時~四時
ところ 鳥栖商工会議所二階
内容 労働時間短縮の現状と時短への取り組みなど
申し込み 鳥栖商工会議所 ☎3121へ

新春登山
とき 一月二十一日(日)午前七時

受験申し込みは水道課備え付けの申し込み用紙に必要事項を記入し、受験手数料千円と講習会受講手数料(配管技能者千円・責任技術者二千円)を添えて配管技能者は一月十六日午後三時までに、また責任技術者は同二十九日午後三時まで(同課業務係 ☎5353)へ。

ところ 市役所前出発(行き先は由布岳一、五八三) 会費 大人四千円、子供二千五百円
主催 鳥栖市山岳連盟
申し込み 西依政雄(市下水道課 ☎3543)へ

新春経済講演会

とき 一月二十三日(火)午後二時~四時
ところ 鳥栖商工会議所三階
講師 経済評論家・野田皓一氏
申し込み 鳥栖商工会議所・中小企業相談所(☎3121 FAX ☎8888)へ

福祉

母子家庭を対象に就学資金などを融資

母子家庭のお子さんが高校

◆配管技能者試験(実技)：一月二十三日(火)午後一時半、市浄水場(原古賀町)▽講習会：一月十九日(金)午前九時、市役所別館男子教養室
◆責任技術者試験(学科)：二月七日(水)午前九時、市役所別館男子教養室▽講習会：一月三十一日(水)午前九時、市役所別館男子教養室

や大学などに進学される場合は、県から就学支度資金や就学資金などを借りることができま

融資を希望される方は、就学支度資金が一月十日から同二十六日までに、修学資金が一月十日から三月一日までに福祉事務所社会係(☎3552)で手続きをしてください。

寄付

11月30日現在(敬称略)

香典返し

社会福祉協議会へ▽橋口辰男(田代外町、亡妻スミ子)▽森川サチエ(同、亡夫修治)▽小林イトノ(原古賀町、亡夫七郎)▽元根美恵子(藤木町、亡夫隆)▽古賀ミヨ子(同、亡夫倉治)▽古賀正治(曾根崎町、亡三男敏樹)▽江頭ひとみ(同、亡

社協が低所得世帯に修学資金を融資
社会福祉協議会では、低所得の一般世帯で、お子さんが高校・大学などに進学される場合の修学資金の融資申し込みを一月三十一日まで受け付けています。詳しくは同協議会(☎3555)へ。

保育所の入所面接

保育所への入所予定児と家族の状況について各保育所で面接を行います。
入所申請されている方は次の日程のうち該当する日においでください。時間はいずれも午後一時半から同四時まで。
なお、未提出書類のある方は当日お持ちください。詳しくは福祉事務所庶務係(☎3552)へ。

嘱託員の交代

(12月1日付・敬称略)
秋葉町▽酒井康之(☎2435)
訂正 市報12月1日号9ページ、さわやかさんの記事「築地美知子さん」は「築地美和子さん」の誤りでした。おわびして訂正します。

とき	保育所名
1月22日(日)	田代保育園
" 23日(月)	白鳩園、めぐみ保育園
" 24日(火)	下野園、いづみ園
" 25日(水)	小鳩園、慈光保育園
" 26日(木)	鳥栖双葉保育園、鳥栖園

夫政洋)▽吉村賀彦(京町、亡父昭男)▽宮地チエ(村田町、亡夫進)▽宮地宣雄(同、亡二男浩行)▽角宣明(山浦町、亡母克枝)▽松川由三(同、亡妻キミ子)▽高尾シズエ(酒井西町、亡夫吉太)▽執行輝雄(江島町、亡妻トメ)▽山崎利昭(同、亡父徳次郎)▽田中理(下野町、亡父好晴)▽池田チズエ(神辺町、亡夫五郎)▽成澤ミエ子(土井町、亡夫作一)

一般寄付

社会福祉協議会へ▽一輪車一台：森崎克吉(宿町)▽二万円：村山三重子(大正町)▽十八万九千七百三十七円(チャリティー演奏会の益金)：琴城流大正琴(佐賀県支部長・古賀委助代)指定寄付 社会福祉協議会へ▽二万円(身体障害者福祉協会へ指定)：古賀ミヨ子(藤木町)▽七万円(朝日山学園建設資金へ指定)：村山三重子(大正町)

いけいけ! フューチャーズ



「佐賀が気に入っている」とタタウ選手

カメルーンから来日し、今季のリーグ戦では豊富な運動量とスピード、テクニクでチームを引っ張ってきたステファン・タタウ選手が十二月三日、フューチャーズと再契約し、来季の残留が決まりました。タタウ選手はヴェルデイ川崎、浦和レッズ、清水エスパルスなどJリーグ数チームが獲得に乗り出し、その去就が注目されていましたが、本人は「鳥栖フューチャーズはアフリカの選手として初めて日本でのプレーを可能にしてくれたチームであり、自分はチームをJリーグに昇格させる原動力となるためにきたので、他のチームと契約する意思はない。また佐賀の人々の家族的な雰囲気がとても気に入っている」と語り、来季もフューチャーズでプレーす

ることになりました。Jリーグ昇格を逃がしたフューチャーズでは、来季に向けてチーム強化を目指した現体制の大幅な見直しを進めています。日本サッカー協会が十二月十二日発表した戦力が十二月十二日発表された戦力が外通告や移籍希望選手を載せた移籍リストにフューチャーズの選手十三人が掲載され、今季限りでチームを離れることになりました。来季はJFLで二位以内を確保しJリーグ昇格を果たすためには、今季以上の戦力が必要なのは言うまでもなく、フューチャーズでは現在、日本人選手の大規模な補強を進める一方、新外国人ストライカーなど新たな選手の獲得に乗り出しています。今年六月にはいよいよスタジアムも完成。今季以上の応援をよろしくお願いたします。

11 タタウ残留、チーム強化へ体制見直し

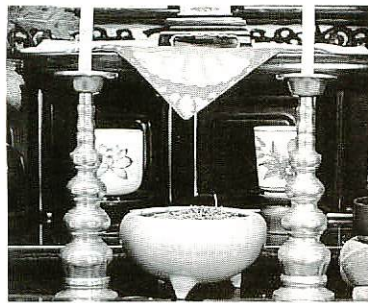
中世山城と筑紫氏

Vol.43 八女時代 その三

前回みたように、広門は八女に国替え早々、肥後国人一揆鎮圧のため、肥後北部に出陣します。この時、和仁・辺春氏の立て籠もる田中城（三加和町）攻めに加わりませんが、その折、立花宗茂、筑紫広門、高橋直次連名あての豊臣秀吉朱印状が残っています。

その朱印状の大意は「小早川秀速相動、小早川相談、和仁・辺春悉令誅伐段、感悦思召候、寔粉骨儀無比類候、然者、彼国残党被逐糾明、為可被仰付、来正月廿日、為上使式万余被仰付候条、可被成

広門とともに肥後一揆鎮圧に出陣した立花宗茂画像（福厳寺所蔵）



今でも仏具として用いられる燭台

「燭台」は蠟燭をともし台で、木製・鉄製・真鍮製などで作られています。後には装飾用として陶製のものも登場します。室町時代の文献に燭台のことがみられ、古くは仏具として多く用いられてい

ますが、江戸時代以降になると広く生活用として使われるようになります。柱や壁に掛けておくようにしたものや「掛燭」、持ち歩くように横に手をつけたものを「手燭」と言

後には行灯と同じように、火袋をつけたものも作られ「雪洞」と呼ばれました。「雪洞の手燭」は持ち歩くときの手許や足許を照らすのに用い「雪洞の燭台」は部屋の照明や倒れることがなく安全なため寝室の常夜灯として使用していました。

また、畳差燭台「壁差燭台」なども考案され、さまざまなバリエーションにも対応できるようになってきます。これらははじめ蠟燭を裸火のまま用いていましたが、

追記「市の教育委員会では燭台をはじめ灯火具を所蔵しておりません。どなたか使っておられないものがありましたら、ぜひお譲りください（☎3695）。

VOL.71 ● 燭台

消えゆく民具 【生活用具編】

市民栄誉賞 1団体6人に

市民栄誉賞の授賞式が十一月二十四日、サンメッセ鳥栖で行われ、プロ野球セ・リーグ盗塁王に輝いた緒方孝市選手ら一団体六人を表彰しました。

授賞式では、一人ひとりに表彰状と、市章と鳳凰をデザインした記念のメダルが贈られたあと、山下市長が「今後

とも市勢発展のため、高い見識と豊富な経験によるお力添えをお願いします」とあいさつ。受賞者を代表して緒方選手が「郷土のため、そして自分自身のためにも一生懸命頑張ります。これからもご支援をお願いします」とお礼を述べました。

市民栄誉賞は産業経済、文



市民栄誉賞受賞者のみなさん▷左から岩田博之さん、緒方孝市さん、野田太四郎さん、中富正義さん、江頭美奈子さん、映画「月光の夏」を支援する会・水田哲夫会長、孫正義さん(代理)

では国内有数の企業に育て上げました。

■岩田博之(27歳、理容士)
数多くの大会で優勝するなど本市の理美容業の発展に貢献。また「流行のヘアスタイルは鳥栖から」と言われるほどの卓越した表現力で昨年十月の全国理容競技大会で優勝世界大会への出場資格を獲得しています。

■緒方孝市(26歳、プロ野球選手) 昭和六十二年に鳥栖高校を卒業後、広島カープにドラフト三位で入団。昨年は101試合に出場し、打率3割1分6厘、47盗塁を記録してセ・リーグ盗塁王を獲得したほか、ゴールデン・グラブ賞にも輝きました。

■江頭美奈子(19歳、体操選手) 中学、高校時代に全国大会で個人総合一位になる一方、数多くの国際大会にも出場するなど、県体協会はもちろん日本女子体操の向上に多大の貢献をされました。

■映画「月光の夏」を支援する会 鳥栖小学校に残されていたピアノ「フッペル」をモデルにした映画「月光の夏」の製作に当たり、その実現に向け市民らへの募金活動をはじめ九州各地にまで及ぶ支援活動を展開、映画完成に多大の貢献をされました。

化スポーツなどの各分野で活躍されている方々で、市民から郷土の誇りとして敬愛され、青少年をはじめ市民に夢と希望を与えてくれた方々に贈られるもので、平成元年に制定。これまで画家の古沢岩美さん、マラソンの佐々木精一郎さん、水泳の緒方茂生さんら十一人三団体が受賞しています。

今回の受賞者の功績などは次のとおりです(敬称略)。

■中富正義(90歳、久光製薬会長) 市の歴史的産業である製薬業を全国に知らしめるとともに十六期三十九年の永年にわたって鳥栖商工会議所会頭として商工業の発展に多大の貢献をされました。

■野田太四郎(87歳、書道家) 書道家として数多くの賞を受賞。海外へも出品するなど永年にわたり第一線で活躍する一方、書道講師、審査員を務め地域文化の育成にも力を尽くされています。

■孫正義(38歳、ソフトバンク社長) 音声装置付多国語翻訳機を発明後、ソフトバンク社を設立。先見の明により同社をパソコン関係の書籍とソフトウェアの流通の分野

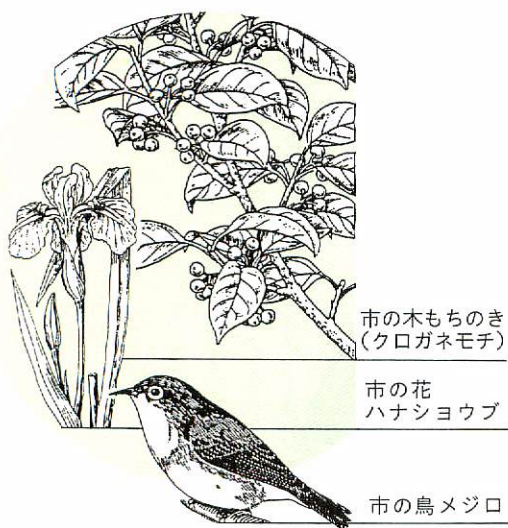
人口				平成7年12月1日現在		()内は前月比	
総数	男	女	世帯数				
56,646(+23)	27,094(+12)	29,552(+11)	18,054(+31)				

1月の納税

市 県 民 税(4期分) 納期限 ● 1月31日
国民健康保険税(8期分)

水道の修繕

鳥栖市管工事協同組合 ☎84-2500
●水道の修繕はすべて上記へお申し込みください



市の木もちのき(クロガネモチ)

市の花 ハナシヨウブ

市の鳥メジロ